世田谷区環境に関する区民意識・実態調査（概要版）　令和５年11月　世田谷区

この世田谷区環境に関する区民意識・実態調査（概要版）は、令和５年８月に実施した「世田谷区環境に関する区民意識・実態調査」を要約したもので、広くその内容を知っていただくために作成しました。

この調査では、「区民の皆さんの環境に配慮した行動について」などの項目についてお聞きしました。調査については、世田谷区環境基本計画の改定の基礎資料として活用して参ります。

また、調査結果の詳細「世田谷区環境に関する区民意識・実態調査」は、世田谷区の区政情報センター、同コーナー、区立図書館、区のホームページなどでご覧いただけます。

（令和５年８月実施）

【調査項目】

１　区民の皆さんの環境への意識について

２　区民の皆さんの環境に配慮した行動について

３　区民の皆さんの電気の購入等について

４　世田谷区が取り組んでいる環境施策について

５　世田谷の環境に期待することについて

６　世田谷区からの案内や情報について

７　世田谷区の環境についての意見、要望

調査の概要

対象者　　　満18歳以上の世田谷区内在住者

対象数　　　4,000人

抽出方法　　住民基本台帳に基づく無作為抽出法

調査方法　　郵送配布・原則インターネット回収

調査期間　　令和５年８月２日～８月23日

有効回収数　1,558人

有効回収率　39.0％

グラフの見方

１　（複数回答）、（５つまで）と記述されたもの以外は、選択肢を１つだけ選ぶ設問です。

２　小数点第２位を四捨五入しているため、合計が100.0％にならないものがあります。

３　複数回答の設問については、合計が100.0を超えることがあります。

４　グラフ中のnは、各設問の回答者数を表します。

回答者の属性

（１）居住地域　1,558人

世田谷地域　33.1％

北沢地域　14.8％

玉川地域　22.8％

砧地域　16.4％

烏山地域　12.8％

無回答　0.1％

（２）性別　1,558人

男性　45.1％

女性　54.6％

その他　0.3％

無回答　0.1％

（３）18～19歳　1.7％

20～24歳　3.8％

25～29歳　5.6％

30～34歳　7.3％

35～39歳　8.0％

40～44歳　9.9％

45～49歳　12.0％

50～54歳　12.8％

55～59歳　10.7％

60～64歳　8.7％

65～69歳　4.4％

70～74歳　6.3％

75～79歳　4.6％

80歳以上　4.2％

無回答　0.0％

（４）世田谷区在住年数

　　　1年未満　3.3％

　　　1～3年未満　7.6％

　　　3～6年未満　9.2％

　　　6～10年未満　9.6％

　　　10～18年未満　18.7％

　　　18～30年未満　21.9％

　　　30年以上　29.7％

　　　無回答　0.1％

（５）職業　1,558人

自営業・事業主　11.9％

会社員・公務員・団体職員　45.9％

パート・臨時職員（非常勤、嘱託、派遣　等を含　14.1％

その他就業者（家族従業者、農業従業者　等）　0.4％

家事専業　11.6％

学生　4.0％

無職　9.7％

その他　2.4％

無回答　0.0％

（６）世帯人数　1,558人

1人　19.4％

2人　30.9％

3人　23.6％

4人　20.3％

5人　4.4％

6人　1.2％

7人以上　0.3％

無回答　0.0％

（７）居住形態　1,558人

一戸建て（持ち家）　39.4％

分譲マンション（持ち家）　22.5％

店舗併用住宅（持ち家）　1.2％

一戸建て（借家）　2.9％

店舗併用住宅（借家）　0.4％

民営アパート・マンション　26.1％

都市再生機構（旧公団）・公社・都営住宅・区営住宅　2.8％

社宅・官舎・寮・間借り・住み込み　2.8％

ケアつき住宅・老人ホーム　0.1％

その他　1.8％

無回答　0.0％

調査結果

1　区民の皆さんの環境への意識について

（１）「環境」分野の関心について

回答者1,558人のうち、たばこマナーやごみのポイ捨て、有害鳥獣対策　について高い関心を持っているかたは46.7％、次いで　公害への取組み　について高い関心を持っているかたが37.6％であり、身近な問題で関心が高い傾向がみられます。

２　区民の皆さんの環境に配慮した行動について

（１）省エネ行動について

回答者1,558人のうち、省エネ行動として、こまめに水道の蛇口、シャワーを止める　をいつも行っているかたは74.0％となっています。

そのほか、ご飯は必要な分だけ炊く、まとめて炊いて余りを冷凍するなどにより、炊飯器の保温時間を減らす　が73.2％、エアコンなどの空調設備を使うときは、設定温度などに気をつける　が70.6％、家にいる時はなるべく１つの部屋で過ごす　が56.2％となっています。

（２）資源回収に出している資源（複数回答）

回答者1,558人のうち、第１位　ペットボトル　が63.5％、第２位　牛乳パック　が37.3％、第３位　衣類　が33.1％、第４位　発泡トレイ　が32.4％となっています。

回収していることを知らない　は7.1％、どれも出していない　18.2％となっています。

（３）ごみの削減・リサイクルの行動について

回答者1,558人のうち、ごみの削減・リサイクル行動として、　新聞・雑誌などは可燃ごみではなく、資源として出すなど、ごみ・資源の分別を徹底する　を、いつもやっているかたは78.4％となっています。

そのほか、生ごみを出す前の水切り　が72.3％、買い物袋やマイバックを持参　が72.1％、食べ残しをしない　が68.0％、食料等は（予定を考えて）必要な分だけ購入するが　63.7％となっています。

（４）環境に対するその他の取り組みについて

回答者1,558人のうち、洗剤は適量を使う、料理で使った油はそのまま流さないなど、生活排水への注意　を、いつもやっているかたは70.0％となっています。

次いで、徒歩、自転車や電車・バスなどの公共交通機関を利用するなど、できるだけ環境に配慮した交通手段を利用　が64.6％となっています。

（５）環境に配慮した行動を行っているか

回答者1,558人のうち、環境に配慮した行動を　どちらかいえば行っていると思う　かたが48.4％と高く、行っていると思う　の12.1％と合わせると６割以上となっています。

（６）環境に配慮した行動を妨げている理由

環境に配慮した行動について、どちらかといえば行っていないと思う、または　行っていないと思う　と回答した138人のうち、環境に配慮した行動を妨げている理由は、第１位　生活上の不便・不自由、面倒などが生じるから　が55.1％、第２位　時間に余裕がないから　が39.9％、第３位　成果が感じづらく、意欲が上がらないから　が25.4％となっています。

（７）再生可能エネルギーの利用

回答者1,558人のうち、再生可能エネルギー（自然エネルギー）を利用しているかたは6.5％、これから利用したいかたは51.4％、利用するつもりはないかたは11.3％、わからないかたは33.5％となっています。

再生可能エネルギーを利用しているかたは6.5％となっており、平成30年度から変化はありませんでしたが、これから利用したいかたは11ポイント余り増加し、51.4％となっています。

（８）利用している再生可能エネルギーの種類（複数回答）

再生可能エネルギーを　利用している　と回答した102人のうち、利用している再生可能エネルギーの種類は、第１位　太陽光パネルの設置　が66.7％、第２位　再生可能エネルギー由来の電気の購入　が25.5％、第３位　太陽熱の利用　が10.8％となっています。

（９）再生可能エネルギーを利用するつもりがない理由（複数回答）

再生可能エネルギーを　利用するつもりはない　と回答した131人のうち、利用するつもりがない理由は、第１位　経済的な負担が大きくなるため　が53.4％、第２位　実用性や技術への信頼性が低いため　が26.7％、第３位　取組みに対する成果が感じづらく、意欲が上がらないため　が25.2％となっています。

（１０）自家用車の保有状況

自家用車については、持っているかたが46.0％、持っていないかたが54.0％となっています。

（１１）保有している自家用車の種類（複数回答）

自家用車を　持っている　と回答した716人のうち、保有している自家用車の種類は、ガソリン車　が68.3％となっています。次いで、ハイブリット車　が22.2％となっています。

（１２）環境負荷の低い自動車の購入に関して気になる点

自家用車を　持っている　と回答した716人のかたが、環境負荷の低い自動車の購入に関して気になる点は、充電場所が少ない、充電時間が長いなど、生活上の不便・不自由・面倒などが生じるため　が67.0％となっています。次いで、購入費用などの経済的な負担が大きくなるため　が49.0％となっています。

３　区民の皆さんのエネルギー使用について

（１）電力の購入先を選択する際に重要視すること

回答者1,558人のうち、電力の購入先を選択する際に重要視することは、電気料金　が60.1％となっています。次いで、ガス、インターネット、携帯電話などのサービスとの兼ね合い　が25.7％となっています。

（２）再生可能エネルギーでつくられた電気を選ぶ価格条件

回答者1,558人のうち、再生可能エネルギーでつくられた電気を選ぶ条件として、価格が他の電気と同程度なら利用したい　が51.0％となっています。

（３）再生可能エネルギーを活用した自治体間連携の認知度

回答者1,558人のうち、再生可能エネルギーを活用した自治体間連携を知っているかたは8.0％、聞いたことはあるが、内容はよく知らないかたは23.2％、知らなかったかたは68.6％となっています。

４　世田谷区が取り組んでいる環境施策について

回答者1,558人のうち、区が取り組んでいる環境施策について、よく取り組んでいると思う　と　どちらかと言えば、取り組んでいると思う　を合わせた《取り組んでいる》の割合は、第１位　ごみの分別回収　が59.2％、第２位　公共施設の緑化や公園などの整備　が49.6％、第３位　川辺・水辺の保全　が33.5％となっています。

５　世田谷区の環境に期待することについて（５つまで）

回答者1,558人のうち、区の環境に関する施策として、充実させていく必要があるものは、第１位　太陽光や水力、地熱などの再生可能エネルギーの利用　が28.2％、第２位　日常生活等における省エネルギーにつながる行動の促進・支援　が27.5％、第３位　ヒートアイランド現象の抑制　が27.3％、第４位　公共施設の緑化や公園などの整備　が25.9％、第５位　ごみの分別の徹底、リサイクルの推進　が25.8％となっています。

６　世田谷区からの案内や情報について（複数回答）

回答者1,558人のうち、世田谷区からの環境（政策）に関する案内や情報を入手できる媒体は、区のおしらせ（広報紙）など、紙による案内　が52.6％となっています。次いで、区ホームページやソーシャルネットワーキングサービス（ＳＮＳ）などによる案内　が21.1％となっています。

年代別にみると、40歳代より下の年代では　区のおしらせ（広報紙）など、紙による案内　が５割を下回っており、20歳代以下では３割を下回っています。10歳代から30歳代では　入手したり、知ることはない　の割合が高くなっています。

世田谷区環境に関する区民意識・実態調査（概要版）

令和５年11月発行

発行

世田谷区環境政策部　環境計画課

東京都世田谷区玉川１丁目20番１号

電話：03-6432-7131

実施

株式会社　リサーチワークス

東京都中央区新富１丁目14番３号

電話：03-5542-0460